

ベーシックマスター 英語重要構文

準動詞を含む構文 (1) 不定詞を含む構文

※準動詞 … to V / 動名詞 / 分詞 の3つのことで、動詞ではなく別の品詞となる

※ポイント 「結果を表す不定詞の副詞的用法」

→ 直前の V もしくは 前文に対する結果を表す

- ① wake up to find ～：目覚めると～だとわかる
- ② grow up to be ～：成長して～になる
- ③ live to be ～：生きて～になる → ～才まで生きる
- ④ only to V：結局 V するだけだった。
- ⑤ never to V：二度と V しなかった。

- ① 私は目覚めると、窓が開いているとわかった。

I woke up to find that the windows were open.

- ② 彼は90歳まで生きた。

He lived to be ninety.

- ③ 私はその試験にもう一度挑戦したが、結局失敗しただけだった。

I tried the test again, only to fail.

〔例題〕 () 内の語をならびかえ、全文を書きなさい。

- (1) 私は目覚めると、入院しているとわかった。

I (up / find / to / that / woke) I was in hospital.

- (2) 彼は一生懸命働いたが、結局その仕事に失敗した。 [fail in: ～に失敗する]

He (hard / to / fail in / worked / only / the job)